

平成 19 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏 名 秋山 秀一

最終学歴	神戸大学大学院経営学研究科博士課程前期課程修了
取得学位	修士（商学）
所属学会	日本商業学会、日本中小企業学会、近畿都市学会
現在の専門分野	マーケティング
研究課題	企業間ネットワーク、産業集積における企業行動、地域ブランド、まちづくり

【研究上の特記事項】

- ・トヨタ財団2006年度研究助成 平成18～20年度「アジアにおける「市民参加型・マルチメディアによる地域文化発信ネットワーク」の立ち上げ—インド・ゴアと日本・奈良から始める試み」研究代表者 松川恭子。研究分担者 中原洪二郎、秋山秀一、中道 實、芹澤知広、Alito Siqueira、Rahul Srivastava。

【教育上の特記事項】

- ・社会学部地域連携教育研究センター連携部門長として地域連携事業に関わる。
- ・同「地域デザイン講座2007 セッション2 —奈良発観光スタイル」企画・運営担当。共催：奈良市商業振興センター、後援：社団法人奈良まちづくりセンター。
- ・第1回インターゼミナール マーケティング・プランニング・コンペティション『インスタント・ラーメンの製品開発とマーケティング・プラン』に秋山ゼミ3回生17名が参加（2007年12月15日、池袋サンシャイン60緑丘会館）。

【社会的活動】

- ・KNS（関西ネットワークシステム：産官学の異業種交流会）報告「まずはネットワークづくり、ご近所づきあいから —奈良大学地域連携教育研究センター発足」KNS第17回例会、2007年5月19日。メビック扇町。
- ・曾爾村、彦根市 優秀観光地づくり賞受賞記念観光フォーラム講演「総合地域デザインからみる今後の観光地づくり」2007年7月15日、奈良県立図書情報センター。
- ・その他、奈良の異業種交流会に参加。

【学内活動】（学内職歴を含む）

- ・就職委員会委員、就職資格支援委員会委員、広報委員会委員、地域連携教育研究センター地域連携部門長

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1 日本のインキュベーション	共	2008年3月	ナカニシヤ出版	日本のビジネス・インキュベーションの代表的存在であるKSP（かながわサイエンスパーク）の事例分析。第5章「KSPモデルの進化と可能性」執筆担当。
(学術論文) 1 企画志向のマーケティング行動とネットワーク	単	2008年2月	大阪経済大学中小企業・経営研究所『経済経営』第43号。	企業の革新的なマーケティング行動とネットワークの特質について、優れた製品企画機能を保有する企業の事例分析を行った。
2 ビジネス・インキュベーションの可能性ーマーケティングからの接近	単	2008年3月	大阪府立産業開発研究所『産研論集』第20号記念号。	日本のビジネス・インキュベーションの戦略を類型化し、収益性と公共性という観点から、その課題、今後のあり方について検討した。
3 地域経営技法としての地域ブランド戦略と大学・地域連携の可能性ー奈良大学の試みと自治体調査の分析ー	共	2008年3月	奈良大学総合研究所所報、第15号。	地域ブランド戦略について、自治体への質問票調査結果を踏まえた考察。第一執筆者：中原洪二郎。
(学会発表) 1 企画志向のマーケティング行動とネットワーク	単	2008年1月	日本中小企業学会西部部会報告（兵庫県立大学）	企業の革新的なマーケティング行動とネットワークの特質について、優れた製品企画機能を保有する企業の事例分析を行った結果を報告した。
(その他) 口頭報告 1 ビジネス・インキュベーションの可能性	単	2007年12月	大阪産業史研究会	ビジネス・インキュベーションの代表的存在であるKSP（かながわサイエンスパーク）の事例分析から、施設の課題である公共性と収益性について考察し報告した。